

令和5年度 第4回「SAGA コラボレーション・スクール」  
学校運営協議会（学校魅力強化委員会） 議事録

- 1 日 時 令和6年2月14日（水）15：00～17：10
- 2 場 所 本校 進路教室
- 3 出席者 <学校運営協議会（学校魅力強化委員会）委員>  
川島委員、生駒委員、梅野委員、川崎委員、多貝委員、徳川委員、  
早川委員、前田勝委員、前田真委員、松田委員、山下委員  
<校内委員>  
岡本校長、山口あ教頭、池田、田島、山口た  
<生徒会役員>  
2年生徒会役員1名、1年生徒会役員1名

4 会順

- (1) 学校長挨拶（校長）
- (2) 議題② 総探との協働体制について（田島）
- (3) 令和5年度学校評価 最終評価について（教頭）
- (4) 今年度のSCS活動実績について（山口）
- (5) 議題① 学校運営協議会の在り方について
- (6) 生徒会役員との意見交換

## 議事録

### (1) 学校長挨拶 (校長)

- ・ 特別選抜について
- ・ 卒業式の案内について
- ・ 来年度に向けて進めている改善・改革について (普通科改革、2つのコース制)

### (3) ②来年度の総探との協働体制について (田島)

探究のテーマ設定にあたって、外部組織との連携やその体制づくりを進めていきたい。学校の育成目標を達成するために。

**A委員** どちらのコースも進学を目指すことになるのであろうが、入試での表現は小論文だけでなく、プレゼンをするところもあるのか。

(来年度の総探の) カリキュラム STEP6やSTEP9にレポートや小論文講座が入っているが、それでは書けるようにならないのではないか。できれば、1年次から取り組んでいかないと書く力が着かないと感じた。

**B委員** 小論文といっても、高校生が書くのと、大学生が書くのでは内容や質が違う。どれくらいのレベルを求めるのかによるのでは。

**校長** このカリキュラムだけでなく、教育活動のいろんな場面 (朝の読書の時間や各教科の授業など) でも計画している。

**C委員** 地域のリーダーを育成していくことが重要。できれば、小学校から中学校、高校と連携しながら地域を担う若いリーダーを育成していくような取り組みができるといい。

### (1) 学校評価について

#### 【学力の向上】に関して (教頭)

総探の取り組みが、総合型選抜での合格につながっている。他校と比較しても合格者の割合が高い。

**B委員** 合格者の数だけでなく、ボランティアなどの活動を通して、それがどう進学 (合格) につながったのか。

**教頭** ボランティアは大学の進学のために行っているわけではない。それも含めて様々な活動や学習が進学や合格につながっている。

**A委員** 8月に一中と西高生が一緒になって子どもたちに学習会を行っている。そこに参加している西高生は、教育系への進学を志望している生徒がボランティアに参加している。それはとてもいいことだし、子どもたちにもそういう姿を見せることができる。

**D委員** 小学校から見ても、非常に助かっている。先程の話にあった地域のリーダーの育成にもつながっていると感じる。

**E委員** 私も生徒委員との関わりの中で、1年後を見据えて面接しているが、ボランティア

活動を通じた経験・体験が確実に進路につながっている。もちろん、そのために活動しているわけではないが、効果は大きい。

校長

私も3年生と個人面談を行っているが、その効果を感じている。

教頭

来年度からの普通科改革の中で、2年次・3年次では探究活動の時間が増える。ボランティアだけでなく、探究的な活動の中でもそのような機会が増えていくと考えられる。

【心の教育】【健康・体づくり】に関して

教頭

情報モラルに関しては、重要な問題が起きたわけではないが、日頃から指導を徹底している。

【業務改善・働き方改革】に関して

校長

来年度は下校時刻を30分早めるので、その分超過勤務は減るのではないかと。また、他の取り組みも行っていく必要もある。

教頭

放課後の指導を考えると難しい面はあるが、少しでも減る努力をしていきたい。

C委員

施錠などについては、警備会社に任せることはできないのか。

校長

土日の施錠に関しては、警備会社に委託する時もある。

【重点的に取り組む評価】に関して

A委員

本校の生徒にとっては、西高の人気の高い。とくにボランティアが影響している。ボランティアと運動部や勉強と兼部や両立ができる、そういうモデルが確立されている。近年は、ボランティアをやりたいという生徒が多く、意義を見いだす生徒が増えているのではないかと。一方で全国に目を向けてみると、より先進的な学校の中には、生徒がNPO法人を立ち上げるところ見られるようになってきた。西高がそれをできるようになると、もっと変わってくるのではないかと。例えば、総探のカリキュラムの中にも「NPOの立ち上げ方」のような取り組みが入ってくると、可能性がでてくるかもしれない。そうすると、もっと進路実績も跳ね上がっていくのではないかと。集団の存在意義を高めていくことにもなる。

B委員

すばらしいアイデアだと思う。しかし、学校の中で本当にNPOを立ち上げるとなると、生徒や先生が変わっていく中で継続するのも難しいし、いざ解散するとなるととても大変。本当のNPOまでいかななくても、学校版NPOのような取り組みができればいいと思う。外に出て地域と繋がるのはとても大事。生徒たちが主体的に自発的に取り組むことも大事だが、与えられた取り組みや今の活動の中からでも、その体験や経験を通して「もっとこうしたい」とかボランティアの意義や存在意義のようなどころも出てくるのではないかと。

(2) 今年度のSCS活動実績について

今年度は、ボランティア活動だけでなく、教科による地域連携、総合的な探究の時間での活動が増えた。とくに地域連携だけでなく、学際的な取り組み（大学や研究機関との連携）も行った。

**F 委員** 発表会には、保護者委員も巻き込むといいのではないかと。

**G 委員** これはお願いにもなるが、福祉系との関りを持っていただけるとありがたい。これまでの取り組みからも、生徒委員にとっても施設側にとっても効果がある。

### (3) ①学校運営協議会の在り方について

今年度、企画運営部会と地域協働部会の2つに分けて学校運営協議会を進めてきたが、どうだったか。やってみて思ったこと、感じたことなどの意見をいただきたい。

**F 委員** 人数も増えて、多様な立場の方がいろんな角度で議論出来ていて、進化してきていると感じる。一方で、他の部会が何をしているのかわからない部分もあるので、それを共有できる何かがあればいいなと思う。

**山口** 学校 HP に、各回の議事録をアップしている。また、SCS の活動実績も主なものは詳しい内容のものもアップしているので、ご覧になっていただけるとありがたい。

**H 委員** 共有する手段も必要であるが、資料を事前にただけると目を通すことができ、話し合いもスムーズにできるようになるのではないかと。

**F 委員** 今年、企画運営部会に属していた者としては、生徒の発表や様子を見てみたい。

### (4) 生徒会役員との意見交換

**2 年生徒会** 2 年ということもあり将来のことを考えることが多くなってきた。ネットで大学のことを調べることは多くあるが、実際にいろんな企業や業種の見学や対話ができる機会がほしい。

**E 委員** この学校運営協議会にはいろんな業種の人が集まっているので、何かプラットフォームのようなものができれば、十分可能なのかなと思う。

**A 委員** 確かに学校には同窓会や振興会も含めると、プラットフォームのようなものを作るのは可能だと思う。

**山口** そのような取り組みを行っていくには、総探だけでなく LHR やキャリア教育でもご協力をお願いすることになるかも。

**C 委員** 会議の場では生徒の声が直接聞こえてこない。しかし、生徒の声でこういうことがしたいと聞こえてくれば、サポートや協力しようとする。

**F 委員** ボランティア部ではロータリーのつながりで多様な業種の人に話をしてもらっている。声があがれば、日にちが場所を設定してそのようなことを学校ですることも可能ではないか。

**B 委員** 我々のお膳立てもいいが、若いのでどんどんチャレンジして失敗してほしい。

**A 委員** 生徒会がそういうことを企画して相談すると、たくさんの大人に協力してもらえるのではないかと。

**1 年生徒会** 1 年のうちは文理選択がメインになってくるので、勉強や進学だけでは将来のことがなかなか見えてこない。将来の仕事やキャリアから進路や文理選択するためにも、企業見学もしたかった。

E委員

社会のことを知ることで、先を見据えたキャリアを考えることができる。

C委員

ネットは情報量が多いが、生の声も必要になってくる。そういう声を聞く機会は必要なこと。

I委員

例えば、手紙を5人に出したら一人くらいは返事が来るかもしれない。そこで、繋がりをもつことができるかも。

D委員

最後に、後輩たちに西高を勧めることができますか。

校長より

ご多忙中にもかかわらず、今年度ご協力いただきありがとうございました。また、多くの意見を頂戴し、今後の学校運営に活かしていきたい。来年度もまたよろしくお願ひしたい。